

研究大会あいさつ

令和 7 年度第 100 回全日盲研・東京大会運営委員長

東京都立葛飾盲学校長 竹内 大吾

令和 7 年度第 100 回全日本盲学校教育研究大会・東京大会は、総勢 426 名の参加者を迎え、盛会のうちに無事終了いたしました。

この大会をかくも実り豊かに終えることができたのは、ひとえに、文部科学省、東京都教育委員会、シンポジストあるいは助言者としてご指導くださいました各大学や視覚障害教育関係者の方々、さらに発表者としてご協力いただいた全国盲学校の皆様のお力添えによることは申すまでもありません。これに加えて、企画、運営等で、尽力いただいた都立盲学校の運営委員を中心とした教職員の並々ならぬご協力があったからこそでありまして、ここに改めて、皆様に心からお礼を申し上げます。

当初、100 回の節目となる本大会を東京でお受けして、過去の歩んできた大会のごとく立派な成果をあげる得ることができるかという心配もありましたが、お受けした以上、私たち都立盲学校の力を全てを結集して大会運営に邁進してまいりました。オリンピックセンターは、全体会の会場であるホールと分科会会場である研修室が別棟の建物になっており、昨今の夏場の気温上昇もあって、安全に参加者の方々が移動できることを念頭に、最寄り駅の所管の小田急電鉄株式会社とも連携して、様々な配慮をしてきました。終了後の参加者からのアンケートでは、「案内や誘導が丁寧でした」などのお言葉をいただき、良かったと思っております。

さて、私たちの進む視覚障害教育の道は、在籍者数の減少、専門性の継承等、まだまだ困難な道ではありますが、シンポジウムでは、シンポジストの方々から、未来の盲学校への期待、そして盲学校の教員への温かい励ましのこもったメッセージをいただきました。また、各分科会での研究実践の発表は、全国規模での成果の共有と各校への還元につながるものでありまして、これこそ、100 年の節目として、持続可能な盲学校を目指していくという所期の目的が達成できたものと確信しております。さらに、今大会の想いを継承させていき、令和 8 年度の福島大会の成功を願わずにはられません。

皆様、本当にありがとうございました。皆様の今後ますますのご発展とご健勝をお祈りしますとともに、今後ともよろしくお願いいたします。